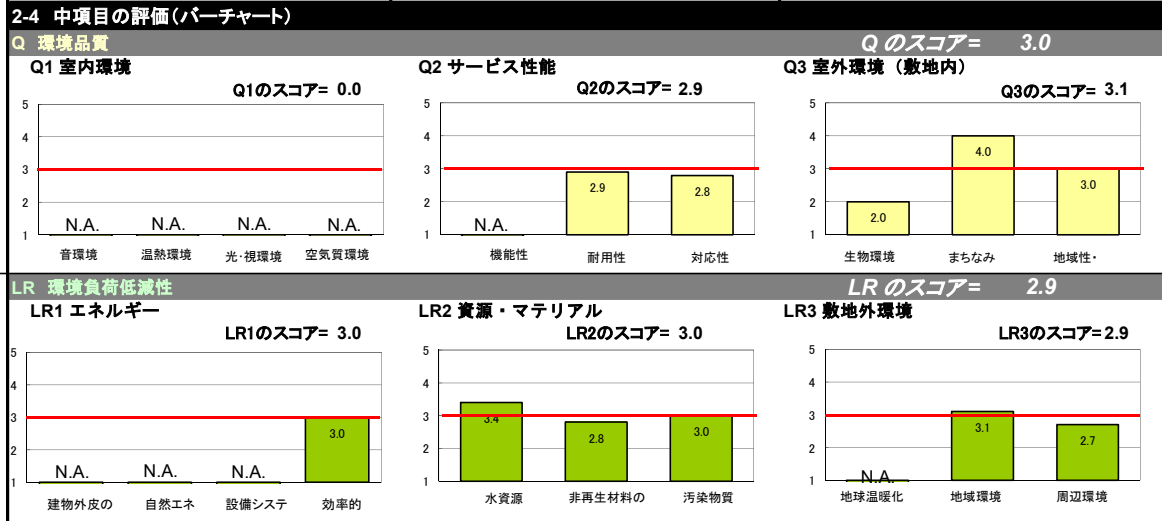
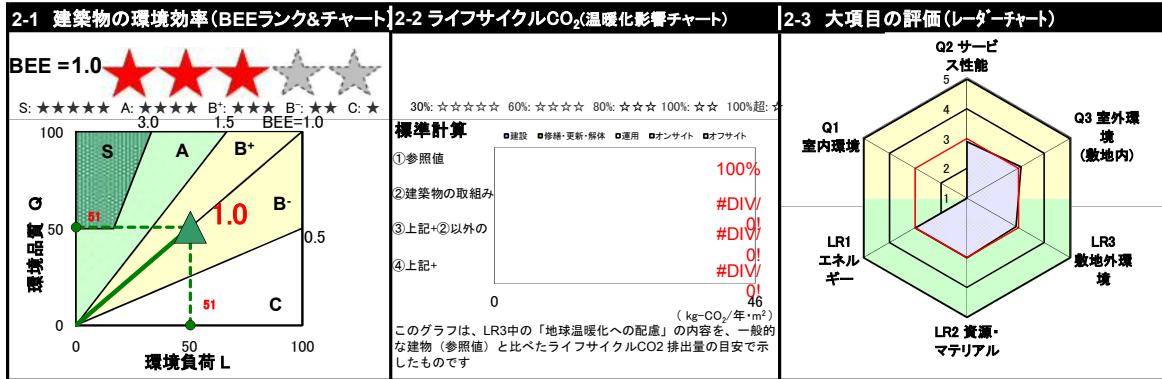


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	東岡崎駅周辺地区整備北東街区有	階数	地上5階
建設地	愛知県岡崎市上明大寺町2丁目14番	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	5人
気候区分	6地域	年間使用時間	5,500時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2017年11月30日
敷地面積	4,263 m <sup>2</sup>	作成者	萩原義久
建築面積	1,396 m <sup>2</sup>	確認日	2017年11月30日
延床面積	6,270 m <sup>2</sup>	確認者	萩原義久



3 重点項目	
<p>①地球温暖化への配慮</p> <p><b>N.A</b></p>	<p>③敷地内の緑化</p> <p><b>2.0</b></p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p><b>12.5 %</b></p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p><b>2.7 %</b></p>
<p>②資源の有効活用</p> <p><b>2.8</b></p>	<p>④地域材の活用</p> <p><b>1.0</b></p> <p>&lt;外装材に使用した地域性のある材料&gt;</p> <p>なし</p> <p>&lt;建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材&gt;</p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用  
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化  
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積} - \text{建築面積} + \text{附属物面積}}$  × 100

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}}$  × 100

みんなの環境活動を応援しています



<b>3 対応性・更新性</b>				2.8	0.48		-	2.8
<b>3.1 空間のゆとり</b>				2.6	0.31		-	
1 階高のゆとり				1.0	0.60		-	
2 空間の形状・自由さ			壁長さ日率 0.1以上	5.0	0.40		-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>				3.0	0.31		-	
<b>3.3 設備の更新性</b>				3.0	0.38		-	
1 空調配管の更新性		②		3.0	0.17		-	
2 給排水管の更新性				3.0	0.17		-	
3 電気配線の更新性				3.0	0.11		-	
4 通信配線の更新性				3.0	0.11		-	
5 設備機器の更新性				3.0	0.22		-	
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.22		-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.57		-	3.1
1 生物環境の保全と創出		独自③		2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④	まちなみに配慮した配置、形態	4.0	0.40		-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			中庭(回廊テラス)憩いの場の提供	3.0	0.30		-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④	建物内外を連想させる豊かな回廊テラス	4.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				2.0	0.50		-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>							-	2.9
<b>LR1 エネルギー</b>				-	0.40		-	3.0
1 建物外皮の熱負荷抑制							-	
2 自然エネルギー利用							-	
3 設備システムの高効率化							-	
4 効率的運用				3.0	1.00		-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング							-	
4.2 運用管理体制				3.0	1.00		-	
集合住宅の評価							-	
4.1 モニタリング							-	
4.2 運用管理体制							-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				-	0.30		-	3.0
1 水資源保護				3.4	0.15		-	3.4
1.1 節水			節水コマ、省水機器を計画	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.67		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33		-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.8	0.63		-	2.8
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.07		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.24		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②		3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自		3.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.05		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み		独自		3.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.22		-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			ガラス用シーリング剤に有害物質を含まないものを使用	4.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避				2.6	0.68		-	
1 消火剤				2.0	0.33		-	
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.33		-	
3 冷媒				3.0	0.33		-	
<b>LR3 敷地外環境</b>				-	0.30		-	2.9
1 地球温暖化への配慮		①					-	
2 地域環境への配慮				3.1	0.50		-	3.1
2.1 大気汚染防止			燃焼機器の使用をしていないため、大気汚染物質を全く発生しない	5.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.5	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減		独自		3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制		独自	適切な量の駐車スペースの確保し、管理用や荷捌き用のスペース	5.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制				3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮				2.7	0.50		-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40		-	
1 騒音		独自		3.0	0.50		-	
2 振動		独自		3.0	0.50		-	
3 悪臭							-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40		-	
1 風害の抑制				3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制							-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制				1.6	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のつち外に漏れる光への対策				1.0	0.70		-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30		-	

**重点項目スコアシート**

実施設計段階

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

東岡崎駅周辺地区整備北東街区有効活用事業 駐車場棟

■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)\_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				N.A
LR3-1	地球温暖化への配慮	0.0	0.00	
<b>② 資源の有効活用</b>				2.8
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	2.8	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.8	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.17	
				外構緑化:12.5%/建物緑化:2.7%
<b>④ 地域材の活用</b>		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

## ■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 東岡崎駅周辺地区整備北

計画上の配慮事項	
総合	<p>注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。</p> <p>北東街区(北・南店舗、ホテル棟)の駐車場として計画。 歩車分離を明確にした計画で安全面に十分に配慮している。</p>
Q1 室内環境	<p>注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>対象外</p>
Q2 サービス性能	<p>注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>基準法を満たしており、かつ一般的水準である。</p>
Q3 室外環境(敷地内)	<p>注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>地域に開放された回廊テラスが建物内外を連帯させ、風や光が通り抜ける豊かな空間を連続させている。視線を遮らず防犯性に優れた計画としている。</p>
LR1 エネルギー	<p>注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>運用管理体制が組織化されている。</p>
LR2 資源・マテリアル	<p>注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>省水型機器などを計画し、汚染物質含有材料の使用回避では、有害物質を含まない材料を使用する計画。</p>
LR3 敷地外環境	<p>注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>地域環境へ配慮した計画とし、大気汚染防止のため燃焼機器は使用していません。適切な量の駐車スペースや台数を確保、交通負荷制御に配慮。</p>
その他	<p>注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。</p>